

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	災害用井戸設置事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	鶴巻 浩二			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	災害時における飲料水、生活用水を確保する。
事業内容	避難所となる小・中学校、公民館等に災害用井戸を設置する。また、既設の災害用井戸について、水質検査を実施する。また、災害用井戸に、ろ水機、商用電源、発電機、ろ過装置、タンク、給水蛇口等からなる災害用井戸ポンプ施設の整備を検討する。			
事業開始から現在までの状況変化	生活用水確保のため、平成8年度から本事業を開始したが、平成24年5月19日に発生した断水事案を契機として、生活用水のほか、飲料水の確保についての重要性が高まっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	整備件数	30	31	31	件	→→
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 老朽化した八木北小学校の井戸の修繕を実施した。また、小山小学校の井戸を電動化した。さらに別事業でおたかの森小中学校の井戸を新たに設置したことにより、井戸数が1箇所増えて31か所となり、予定する箇所には全て設置を終えた。また、井戸の電動化については、老朽化したものや修繕が必要なものについて検討することとし、当面の間は、水質検査のみを実施する。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		10,562,520	8,879,376	4,365,192			
事業費(b)(円)		7,069,020	6,806,376	2,859,192			
うち一般財源		5,149,020	6,806,376	2,859,192			
職員給与費(c)(円)		3,493,500	2,073,000	1,506,000			
人役・職員(人)		0.50	0.30	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	既設井戸の電動ポンプ化工事は当面の間、実施せず、水質検査を実施し、生活用水及び飲料水の確保に努める。	③取組の課題	既存の災害用井戸の計画的な保守点検が必要である。
②今年度(H27)に実施した取組	既設の災害用井戸について、水質検査を実施した。	④今後の改善計画	水質検査の回数(年1回)について、検討する余地がある。